

この史代さん「麒麟のいる街」が表紙！明智光秀のまちの活動をまとめた
「京都 福知山 シティプロモーションブック
光秀イヤー総決算号 1500s-2021」7月下旬配布開始
～「光秀マインド」で乗り越えたコロナ禍での光秀イヤーから今後の挑戦まで450年を1冊に凝縮～

京都府福知山市は、明智光秀ゆかりのまちとしての魅力を発信するシティプロモーション活動をまとめた「京都 福知山 シティプロモーションブック 光秀イヤー総決算号 1500s-2021」を発行し、2021年7月下旬より、福知山城や図書館、観光案内所などの福知山市内各所と、東京の京都府東京事務所に設置・無料配布します。また、福知山市のホームページでデータ(<https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/site/promotion/book2021.html>)を公開します。

ブックの概要

福知山市では、シティプロモーション活動を紹介する冊子を2019年から毎年発行しています。2020～21年はゆかりの武将・明智光秀が主人公の大河ドラマ『麒麟がくる』が放送され、市でも明智光秀に関する多彩な事業が行われました。そこで今号は「光秀イヤー総決算号」と題し、2020年度の活動を中心にしつつも、光秀により福知山城が築かれて以降450年の歩みをまとめました。

この史代さん「麒麟のいる街」(表紙/裏表紙) ▶

内容

表紙のイラストは、『この世界の片隅に』などで知られる福知山市在住の漫画家・この史代さんが福知山城公式サイトに描き下ろした「麒麟のいる街」です。平和な世に現れる聖獣・麒麟に乗って飛来するのは、明智光秀と妻・熙子。明智家家紋の桔梗の花びらも風に舞っています。光秀を良君として慕う城下町・福知山の、リアルとファンタジーが交ざり合う風景が、このさん独特の透明感ある色彩により描かれています。

誌面では、光秀時代～昭和～現在までの「光秀のまち年表」で、福知山が明智光秀のまちづくりへの挑戦心「光秀マインド」を受け継ぐまちであることを紹介。パロディはがき「謀反のお知らせハガキ(※)」が全国的な話題となったオンライン企画「本能寺の変プロジェクト」など、コロナ禍でも奮闘した2020年度「光秀イヤー」の市と市民らの活動を中心に振り返りながら、2021年度の新たな福知山の挑戦も掲載しています。

また、これらの活動で福知山を知った、ファンになったという人たちに向け、公式SNSやふるさと納税、移住サイトなども紹介し、継続的な関係構築を目指しています。



※歴史パロディの名手スエヒロさんの作品を福知山市が圧着ハガキ化したもの

発行概要

【発行日】 2021年7月下旬

【仕様】 B5変形判 12ページ(表紙・裏表紙含む) オールカラー

【配架】 1.福知山市 ○福知山城天守閣(2階シティプロモーションコーナー) ○福知山市立図書館中央館
○福知山観光案内所(JR福知山駅北口) ○福知山市役所(3階秘書広報課)

2.東京 ○京都府東京事務所(東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館8階)

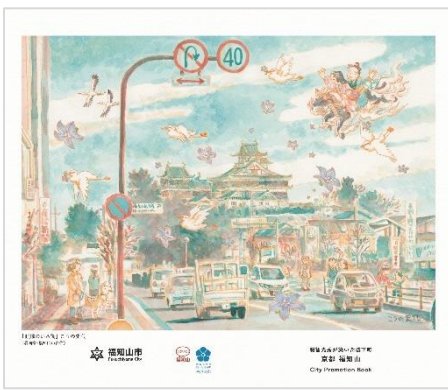
3.その他 ○「いかにと! 福知山ファンクラブ」入会者に送付など

*ファンクラブ会員証デザインは、この史代さん「麒麟のいる街」などがあります。

7月下旬以降、順次配布開始。また状況により、なくなる場合もあります。あらかじめご了承ください。

【データ】 市HPで公開 <https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/site/promotion/book2021.html>

誌面ギャラリー



表紙／裏表紙
(この史代さん「麒麟のいる街」)



巻頭＜福知山城は、想いのカタチ＞



過去から受け継ぎ、未来につなぐ
レガシー、それは「光秀マインド」



コロナ禍を乗り越える力を
くれたのは、1枚のハガキだった



福知山の光秀イヤーは
とにかく盛りだくさん！



市公式 SNS の紹介など